

Epistula

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

2022
Summer
Vol.67



南蛮BVNGO交流館

【サービスマーケティング】大分川清掃活動と大友宗麟館歴史探訪を行いました
(その他活動は5ページに掲載)

特集記事

新任の先生を紹介します

「EPISTULA」: 古典ラテン語で「手紙」という意味です。広報室からみなさまへ、芸文短大の「いま」を伝えるお手紙をお届けします。

Epistula OITA PREFECTURAL COLLEGE OF ARTS AND CULTURE PUBLIC RELATIONS MAGAZINE

2022 Summer Vol.67

大分県立芸術文化短期大学広報誌「エピストゥラ」2022年6月10日発行 通巻67号
大分県立芸術文化短期大学 〒870-0833 大分市上野丘東1番11号 / TEL 097-545-0542(代表) / FAX 097-545-0543

EVENT CALENDAR

イベントカレンダー

JULY 7月 SEPTEMBER 9月

JULY 7月
16日(土) オープンキャンパス
17日(日) オープンキャンパス

AUGUST 8月
9日(火) ~ 夏期休業
(9月19日まで)

SEPTEMBER 9月
17日(土) オープンキャンパス
18日(日) オープンキャンパス
20日(火) 後期授業開始
23日(金) 芸短音楽科コンサートシリーズNo.115
「若さあふれるコンサート～前期試験成績優秀者～」

芸文短大の魅力を
ギュギュッと凝縮!

OPEN CAMPUS 2022

PROGRAM プログラム

- 全体説明会
- 学科別説明会・入試相談会
- 学生生活相談※1
- 入試説明会※2
- 在学生との対話 など

※1: 希望者のみ
※2: 高等学校進路指導担任の教員対象

7/16(土) 美術科
17(日) 情報コミュニケーション学科
17(日) 音楽科
18(日) 国際総合学科

9/17(土) 国際総合学科
18(日) 情報コミュニケーション学科
18(日) 音楽科
18(日) 美術科

7月は対面 OPEN CAMPUS [開催日] 各日13:00~17:00
9月はオンライン OPEN CAMPUS

お申し込み期間 7月開催 6月1日(水)~7月13日(水) 9月開催 8月1日(月)~9月7日(水)

※音楽科と美術科の講習会を受講する場合は、オープンキャンパスとは別に申し込みが必要となります。

お申し込み方法 参加ご希望の方は、本学ホームページからお申し込みください。お申し込みはコチラから



【美術科】講習会のご案内
オープンキャンパスとは別に申し込みが必要です

美術科では、実践的な実技デッサン講習会を開催します。美術専攻では「デッサン過去問題講習会」をデザイン専攻では「デッサン講習会」をそれぞれ開きます

日時 [第1回] 美術専攻 7月16日(土)・17日(日) ※計2回の開催予定
デザイン専攻 7月16日(土) ※1回のみ開催予定
[第2回] 美術専攻 9月17日(土)

コース ■美術専攻 ■デザイン専攻
【個別】デッサン・作品オンライン講評 と【グループ】デッサン・作品オンライン講評を別々に実施します。

対象: 高校生以上(社会人も可) / 受講料: 1,000円

申し込み締切 [第1回] 7月8日(金)まで [第2回] 9月9日(金)まで
お申し込み方法、手続きに関しては、本学のホームページに掲載しています。
各専攻定員がありますのでお早めの申し込みをお願いいたします。
【お問い合わせ先】 美術科美術専攻副手室 TEL 097-545-8548
美術科デザイン専攻副手室 TEL 097-545-8641

【音楽科】講習会のご案内
オープンキャンパスとは別に申し込みが必要です

コース別に本学教員が、マンツーマンで指導します。(1回45分の個人レッスン)
また、希望者には基礎科目の指導も行います。

日時 [第1回] 7月16日(土)・17日(日)
[第2回] 9月17日(土)・18日(日)

コース ■声楽コース ■ピアノコース ■音楽総合コース
■管弦打コース(受講できる楽器はホームページにてご確認ください)

対象: 高校生以上(社会人も可) / 受講料: 4,500円(45分間のレッスンまたは授業1回)

申し込み締切 [第1回] 6月15日(水)まで [第2回] 8月17日(水)まで
お申し込み方法、手続きに関しては、本学のホームページに掲載しています。
【お問い合わせ先】 音楽科 副手室 TEL 097-545-8758

情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式Facebookでは、本学が主催するイベント・展覧会等のお知らせをはじめ、キャンパス内の様子や学生たちが行うさまざまな活動について報告しています。また、サークルやイベント、研究室等でもFacebookを立ち上げています。

<https://www.oita-pjc.ac.jp>

芸文短大 検索

大分県立 芸術文化短期大学	美術科 ビジュアル デザインコース	美術科 グラフィックアート コース	美術科 プロダクト デザインコース	音楽科	国際総合学科	情報 コミュニケーション 学科

INTRODUCTION OF THE NEW TEACHERS



新任の先生を紹介します



美術科
デザイン専攻
グラフィックアートコース
かとう めぐみ
加藤 恵
専任講師

A.1 福岡県出身。九州産業大学大学院芸術研究科美術専攻を修了。専門は「版画」です。銅版画をはじめ印刷技術を研究しながら、作品発表をおこなっています。

美術科デザイン専攻「デザイン基礎」「デザイン・II」「造形研究・II」を担当、また1年次選択科目「デザイン構成」において平面を担当しています。

A.2 大学修了後、九州産業大学芸術学部で臨時職員・助手を務めていました。その後は福岡で作品発表など作家活動をしながら数ヶ所の大学非常勤講師、版画講座の講師などをしていました。



情報コミュニケーション学科
情報メディアコース
よしむら さとし
吉村 聡志
専任講師

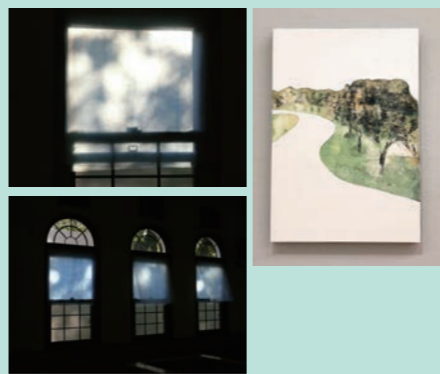
A.1 20年以上の間、テレビ番組のディレクター及びプロデューサー、テレビ・ラジオの番組企画プロデューサーをやってきました。

【専門】
メディア全般及びコンテンツプロデュース
【担当科目】
メディア論／メディアリテラシー／メディアコミュニケーション／映像表現演出

A.2 大学院を出て放送局に就職。その殆どの時間をテレビの制作現場で過ごしました。ドキュメンタリーからバラエティ、時事ネタ、スポーツから音楽、情報まで殆どのジャンルで番組企画、演出、構成、編集などを経験。生放送番組からロケ及び収録番組、九州ブロックネットから全国ネットの番組、海外放送局向け番組に至るまで幅広く手掛けてきました。

A.3 大分については、はじめに思っていたのは「自転車に乗りたかった」ということ。今までは自動車中心に移動をしてきたので、この機に自転車に乗って新天地の空気を感ぜたいと思います。作家は環境の変化によって、表現にも大きく影響されます。自分自身、新しい表現への可能性を感じています。

A.4 表現は、人の数だけ多種多様にあると考えています。大学は、自分自身を発見する場です。これだけは誰にも負けない、みなさんの個性を見つけてください。その手伝いが出来たらと思っています。



A.3 地域課題解決のためのコンテンツ活用、です。企画を考え、映像を「作って」きました。人の、社会の「喜怒哀楽」を表現するためにどう「作」か、をずっと研究してきました。映像は「見る」から「使う」時代へ。モノが売れない・人が来ない：過疎高齢化は進む：地域の悩みは尽きません。映像を「使って」地域をどう良くしていくか。：「地域課題×映像コンテンツ」に取り組みたいと思っています。

A.4 映像はフィルターのようなもので、「映像を扱う」ということは社会を知ること、人と向き合うこと、だと思っています。① たくさんの人とお会いし直接話をする、② 幅広いジャンルの本をたくさん読むこと、③ 多様な考え方に触れ、人や社会を理解しようとする、ことはとても重要です。時間や環境を有意義に使ってください。



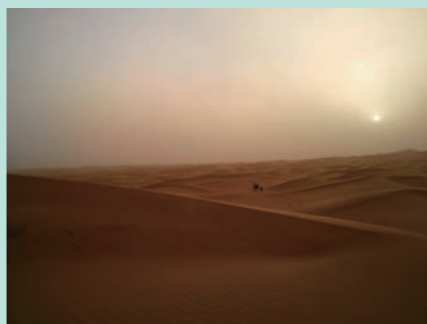
国際総合学科 現代キャリアコース
あきば あつし
秋庭 淳志
専任講師

A.1 中小企業の経営や地域振興を支援する公的機関に所属してあります。また、中小企業診断士として、企業支援の現場で得た知見を大学での研究や教育に活かすなどの取り組みも行っていました。専門は、経営学やビジネス実務全般となりますが、マーケティング・コミュニケーションなどを研究の主たる対象としております。なお、「経営学」や「ビジネス実務総論」などの科目を担当しております。

A.2 中小企業の経営等を支援する機関に所属し、コロナ禍で業績が落ち込んでいた全国の地域産業を調査・再構築する仕事を担当してあります。例えば、飲食店向けの取引ができなくなり、業績が低迷している食品製造業の集積地域に対し、地域全体で消費者に食品を直接販売する取り組み等が挙げられます。また、地域産業の調査を踏まえ、コロナが地域産業に与えた影響などを分析し、調査報告書にまとめておりました。

A.3 多種多様な企業を調査・分析してきた経験から、数多くのビジネスや仕事に接してきました。そのため、企業経営の現場を起点に「経営学」や「ビジネス実務」等を学ぶ価値・魅力などを伝えていければと思っています。また、本学の学生と中小企業の接点を作り、学生に実践的な学びを提供しつつ、人づくりという側面から大分県内の中小企業の発展にも貢献できればと思っています。

A.4 企業経営や仕事の背景を紐解くと、社会で役立つ知識や工夫に数多く触れることができます。また、ビジネスの現場に必要なスキルにはコツがあり、誰でも身につけることができます。私が担当している経営系の授業では、身近な事例を交えながら、多様な視点や実務能力を身につけることを目的としています。社会に出た時、多くの方に喜んでもらえるよう一緒に学びましょう。



趣味の海外旅行で撮影：サハラ砂漠

芸文短大SNS紹介

大分県立芸術文化短期大学では、FacebookやYouTube、Instagramなど、大学の情報を発信しています。各学科のイベント情報や学生生活など、最新情報をお届けします。ぜひご覧ください！



Facebook

大学主催のイベントを中心に学内の最新情報をお届け



YouTube

学生企画イベント動画や大学紹介番組「SWITCHI! 芸文短大」など配信



Twitter (@oitageitan)

大学主催イベントや学生生活などあらゆる情報をお届け



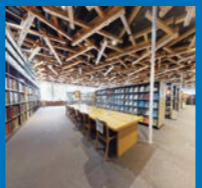
Instagram (@geitan_kouhou)

イベント情報や学内季節の写真など、ここだけの写真も掲載

さらに!

学内施設を3D&360度ビューで散策できるようになりました!
(Wi-Fi環境での閲覧を推奨します)

<https://www.oita-pjc.ac.jp/shisetsu/vr.html>



公益財団法人 実務技能検定協会主催の2021年度ビジネス検定の秘書検定で、国際総合学科の高野真夕さんが1級に合格しました。同検定1級合格までの道のりは厳しく、本学では3人目となります。

1年次に3級・2級を併用受験し、2年次には、高清水理奈子非常勤講師から筆記試験と面接試験に向けた指導を受け、6月の試験で準1級に合格、11月に行われた1級試験に挑み、見事合格となりました。

高野さんは後輩へ向けて「学校の先生に頼ることは学生の特権だと思えます。楽しんで勉強することも、勉強を続けられた要因です」とメッセージを送りました。



第62回入学式・第44回専攻科入学式を執り行いました

2022年度入学式を4月5日(火)、執り行いました。音楽科学生による大学賛歌が合唱され、学長から短大に352名、専攻科には48名の計400名が入学許可されました。

小手川大助学長は式辞で「失敗を恐れずチャレンジを繰り返して欲しい」と新入生を激励し、短大と専攻科それぞれの入学学生代表が「学則を守り、学生としての本分をつくします」と宣誓しました。



サイバー防犯ボランティア「めじろんおおいた見守り隊」の委嘱式が行われました



4月25日(月)、本学において、サイバー防犯ボランティア「めじろんおおいた見守り隊」の委嘱式が行われ、情報コミュニケーション学科の学生11名に対し、大分県警察から委嘱状が交付されました。

「めじろんおおいた見守り隊」は、SNSにおける違法・有害な投稿をパトロールして通報することでインターネット上に潜むさまざまなトラブルを防犯することを目的に、通報活動に加え、啓発ポスター制作などの広報活動も行っています。

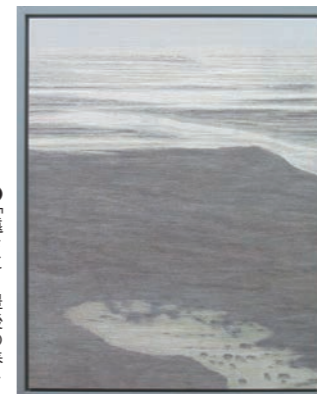
今年度からは、全国初の新たな試みとして、YouTube上に違法にアップロードされた音源やアニメを発見して関連団体に情報提供する「IPサイバーパトロール」を実施する予定です。

「第48回 京都春季創画展 春季展賞」受賞(2作品同時受賞)

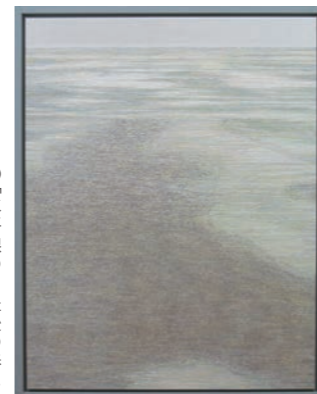
全国公募展「第48回 京都春季創画展」の審査が2021年3月27日(日)に行われ、217点の応募作品の中から入選作品と受賞作品(春季展賞)が決定。本学の美術科美術専攻(日本画分野)永井学准教授が真玉海岸(大分県豊後高田)での写生を基に制作した2作品を出品し、2作品ともに春季展賞を受賞しました。

なお、同展は、2022年4月12日(火)〜17日(日)の間、京都文化博物館にて開催されました。

「春季展賞」受賞作品
※いずれもF50号
(2022年3月制作、4月発表)



●「遠きに〜豊後の春を」



●「水平線の〜豊後の春に」

竹田キャンパス通信

Taketa Campus Correspondence

竹田キャンパスは、ゼミやサークルでの合宿、創作活動の拠点として竹田市に2010年4月にオープンした、芸文短大と地域との交流の場です



非常勤講師、大学OB 前田 亮二

最近帰宅したときに運動場で一匹のウサギをよくみえます(以前は穴熊がそのそととしていました)。ピククリして逃げ出すときに車のライトにつられて前方に出てくるので危ないのですが、ピョコピョコとかわいいものです。夜中は遠くで鹿の鳴き声が響き、朝はイタチかテンのふんが落ちてます。土の掘り返されている箇所は猪が来てたのでしょう。姿は見せなくても心配を感じる生き物達が生息しています。

先日小鳥が近くまで来て全く逃げる様子もなく座り込んでいました。近くでじつくりなんとも綺麗な毛艶だと感心していると、その場にふんだけ残して立ち去っていきました(笑)。様々な生き物の気配を感じたり、眺めたりしているとなんだかほんわかした気持ちになります。

「特殊詐欺被害防止啓発ソング」を本学音楽科の学生が歌いました



大分県警察の制作した特殊詐欺被害防止啓発ソング「ひとりじゃないよ」を、専攻科音楽専攻声楽コース1年立石彩乃さんが歌いました。

この取り組みは、大分県特殊詐欺被害防止条例の施行を機に、大分県警察から依頼があり取り組んだもので、県警イベントやテレビCMなどに活用される予定です。

動画は「大分県警察公式チャンネル」で視聴できます。

Service-Learning Report

ウクライナ避難民支援のための募金活動を実施しました



4月17日(日)、大分市内トキハ本店の前で、ウクライナ避難民の方々を人道的な観点から支援するため、12名の学生が募金活動に参加しました。この活動は当面の間、継続して実施し、集まった募金は後日、国連難民高等弁務官事務所(CNCR)および大分県内でウクライナ避難民を受け入れている地方自治体に全てを寄附します。

参加した学生からは「子供から高齢者まで幅広く支援をしていただき、頑張ってたねと声をかけてもらって嬉しかった」などの感想がありました。



別府市の清掃活動を行いました



4月16日(土)、別府市の清掃活動を実施しました。

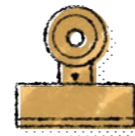
担当教員から別府市の特徴、観光の状況などについて説明があり、街の様子を観察しながら別府駅から別府タワーにかけて歩道に落ちている空き缶などを拾いました。的ヶ浜公園から餅ヶ浜公園にかけての海岸沿いでは、マイクロプラスチック問題などに関する説明を受けました。

学生からは、「たくさん種類のゴミがあつて驚いた」「思ったよりゴミが多くて大変だった」といった声が聞かれ、今回の活動を通じて、観光地としての別府の魅力について理解を深めるとともに、別府市の環境美化に貢献することができました。

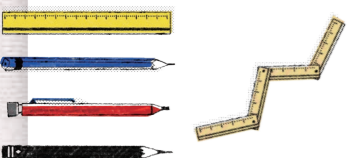
サービスマネージング報告

Product Design Review 2021

美術科 デザイン専攻プロダクトデザインコース
 <4月12日~4月22日>



学内ギャラリー作品介绍



学長

小手川 大助

似顔絵:学長秘書 首藤尚子

学長コラム

生きる喜び

私は仕事の関係などでこれまでに72の国々を訪問する機会がありました。そのような経験と日本国内で受ける印象が異なる点について申し上げたいと思います。

端的に言えば欧米の過剰評価とアジアアフリカ諸国の過小評価です。例えば、日本ではよく北欧やニュージールランドといった国の例が模範的なものとして紹介されることがありますが、その是非は別として、北欧4か国の人口が非常に少なく、「国益」についての国民的合意を得ることが我が国と比べて格段に容易であることに留意する必要があります。

一番人口の多いスウェーデンでも人口は800万、ノルウェー、デンマーク、フィンランドの人口は500万で、デンマークは人口に加えて面積も北海道と同じです。1千2百万人の人口を有する九州よりもスウェーデンの人口は少ないわけです。

EUの総人口は5億人でASEAN諸国の総人口6億人を下回っています。欧州で最大の人口を有するドイツでも人口は8千万人超で我が国の3分の2です。イギリス、フランス、イタリアの人口は6千万人弱でアジアではタイとほぼ同じで、我が国とほぼ同じ人口のフィリピンやベトナム、我が国の2倍の人口を有するインドネシアを大きく下回っています。

学友会情報



こんにちは。私たち学友会は27名で活動しています。主な仕事はイベントの企画や運営、サークルの統括です。先日、新入生歓迎会を行い多くの新入生に来ていただきました。各サークルの代表者と1年生との間や1年生同士での会話が多く見られ嬉しい限りです。お集まりいただいた皆様に感謝を申し上げます。

学友会では、インスタやツイッターのアカウントでイベントについて随時更新しておりますので、そちらの方もチェックしてみてください!

Twitter: @GakuyuGeitan
 Instagram: @geitandayooo

進精是



- 音楽科
 - 第24回九州音楽コンクールピアノ部門大学生クラス【奨励賞】松本美月(ピアノコース2年)
 - 第24回九州音楽コンクール声楽部門大学生クラス【銀賞】池野 優(声楽コース2年)
- 専攻科
 - 第9回九州新聞社ピアノコンクール自由曲部門大学生の部【準グランプリ】萩原そのか(音楽専攻ピアノコース2年)
 - 第56回大分市美術展【J:COM 大分ケーブルテレコム賞】徳重 麻友(造形専攻美術コース2年日本画分野)
 - 【大分臨海ロータリークラブ賞】吉田 怜桜(造形専攻美術コース2年ミクストメディア分野)